

知識と理解を広めることで

発達障害があってもその人らしく、生き活きと生きていける社会を作ろう!

「こころの市民講座」(ひだまり後援会と生駒市社会福祉協議会との共催)が、8月28日と10月19日に行われました。今年は「発達障害」がテーマの連続講座です。

講師は、奈良県発達障害支援センター「でいあ〜」のセンター長 爲重久雄氏です。

1回目は「学校で楽しく過ごそう」をテーマに、約40人が参加しました。発達障害は、中枢神経系の機能障害のため、全般的な知的発達に問題がないにもかかわらず、認知、学習、行動、対人関係、社会性などの発達に偏りが生じる障害であることを、為重氏は関わった事例をもとに様々な観点から話されました。

また「幼少期に発達障害があることに気づけば、障害の特性上できないことを押しつけられることもなく、過度に自信を喪失したり、二次的に精神疾患を引き



起こす(いじめられて鬱状態になる等)ことも防ぐことができる」と話し、幼少期の気づきが大切なこと、そのためにも、地域住民が発達障害を理解しておくことが大切、と話されました。

2回目のテーマ「社会で自分らしく生きよう」には、約30人が参加しました。大人になって働き始めてから、周囲との人間関係に悩み「もしかして発達障害では…」と気づくケースも最近増えているとのこと。講座のなかでは、働くなかで課題があるとき(大きな音がきこえると思考停止状態になる等)の対処法を、参加者一同で考えました。

2回の連続講座を通じ、まず社会に発達障害の知識と理解を広めていくことが大切であること、そして周囲の理解があれば、発達障害があってもその人らしく生き活きと生きていけるのだと感じました。

(コスモールいこま 桑原)



予告

第15回 トーク&ライブ ひだまり 2010

ひらげよう! であいの輪 こころの健康...「ひだまり後援会」は精神障害者のいこいの場と働きの場を後援します。

★opening show 平城人(ならびと) 婆娑羅舞踊団 セイヤー!

- ① 精神障害当事者・家族による～体験発表や詩の朗読、楽器演奏など
- ② ライブショー「早春賦」「この道」「すみれの花咲く頃」ほかクラシック歌曲などを優しいトークと共に・・・♪♫♬♭♯さあ、みんなで歌いましょう

ソプラノ歌手・音楽療法士 山尾賀洋子“美しき心の歌”

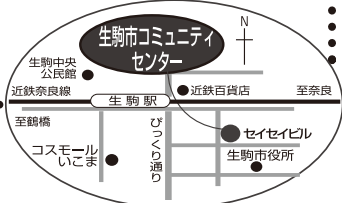
●日時 2011年3月5日(土) 午後1時30分~3時30分
●会場 生駒市コミュニティセンター文化ホール(セイセイビル) 受付/午後1時

主催/生駒市精神障害者施設後援会(ひだまり後援会) ●参加協力費:¥1,000(取扱いコスモールいこま当日会場)

後援/生駒市、生駒市教育委員会、(社福)生駒市社会福祉協議会、生駒市PTA協議会、生駒商工会議所、生駒市自治連合会、生駒市民生児童委員連合会、生駒ロータリークラブ、生駒ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト奈良-いこま、生駒市ボランティア連絡協議会、生駒市障害児(者)を守る連合会、生駒市手をつなぐ育成会、(社福)いこま福祉会、(NPO)あけび、(NPO)地域活動支援センターぶるぼの、生駒市身体障害者福祉会、(社福)宝山寺福祉事業団、近鉄ケーブルネットワーク株式会社、奈良新聞、奈良県精神障害者地域生活支援団体協議会(NPO)奈良県精神障害者家族連合会(まほろば会)、精神障害者地域家族会ひだまり会、(社福)萌、奈良県郡山保健所(予定)

問い合わせお申し込み 事務局:地域活動支援センターコスモールいこま内 TEL0743-73-0900

★当日、ひだまり家族会の会員と精神保健福祉士による相談会を行います。上記問い合わせ先に2月28日までにお申し込み下さい。



◆ご寄附をいただきました団体

- 宝 山 寺 福 祉 事 情 団 様
 - 生駒市身体障害者福祉会 様
 - 手話サークル「カナナ」 様
- ありがとうございました。



「ひだまり クローバー」

発行/生駒市精神障害者施設後援会(ひだまり後援会)
〒530-0001 奈良県生駒市東生駒月見町231-5 坪田博方
連絡 TEL0743-74-9652



創刊のご挨拶

わたしたち生駒市精神障害者施設後援会(ひだまり後援会)は、障害があったとしても、誰もが社会で当たり前の生活ができ、安心して暮らせる・・・そんな街づくりをめざして活動をしてまいりました。本年2010年度が13年目、そして約1年後の再来年2012年には発足15周年を迎えます。

現代の社会はストレスが多くなり、誰もが精神の病気を抱え、心がシンドクなったり、生活しづらくなったりする可能性があります。わたしたちは精神障害者への社会参加を支援したり、精神の病気をできるだけ正しく知るために「トーク&ライブひだまり」や「こころの市民講座」を定例開催してまいりました。このたび、これらの活動のお知らせや実施報告と、精神保健に関する情報をお伝えするために、予告号に書かせていただきました通り機関誌「ひだまりクローバー」を創刊しました。これから多くの市民の方々にも情報やご意見、知りたいことを寄せていただければと願っております。※機関誌名称の「ひだまりクローバー」は精神障害者地域家族会「ひだまり会」の永年の活動にちなんでいます。また、精神障害者施設を後援する「ひだまり後援会」の市民活動が、より広がりのあるみんなの幸福を願う会になればとの思いが込められています。

生駒市精神障害者施設後援会(ひだまり後援会) 代表 植村 圭子



..... 生駒市精神障害者施設後援会(ひだまり後援会)

会員の年会費は一口2000円です。現在の会員数は、254名。昨年までは「マインドなら」を会員情報誌としてお送りしていました。本年後半よりこの「ひだまりクローバー」をお届けする事になります。私たちの活動にご賛同いただき一緒に活動して下さる方、大歓迎です。
◆ひだまり後援会 連絡先・事務局コスモールいこまTEL0743-73-0900(担当:桑原) / ◆ひだまりクローバー編集については巻末発行連絡先まで

ひだまり後援会は、生駒市内の3つの精神障害者施設の利用者に対し、社会参加活動への支援をしています。

- 生駒市内の3つの施設
- 働く事を応援する場 ひだまり(南生駒駅北徒歩3分)
- マイペースで働く場 コミュニティスペースはなな(生駒駅南徒歩4分)
- 仲間と憩う場 コスモールいこま(生駒駅南徒歩3分)



